**大阪府三島医療・病床懇話会概要**

日時：平成３０年７月９日（月）　１４：００～１５：１５

　　　　　　　　　　　場所：茨木保健所　５階　大会議室

■**議題１　会長の選出について**

　会長　木野委員（高槻市医師会会長）

　　＜議事概要＞

　　　　事務局から会長に高槻市医師会会長の木野委員を提案し、選任される。

**■議題２　地域医療構想推進のための今年度の取組み**

**（資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明）**

（資料１）　　２０１８年度「地域医療構想」の進め方について

　　（参考資料）　地域医療構想の進め方について

　　　　　　　　　　　（厚生労働省平成３０年２月７日通知）

■**議題３　三島圏域の現状と課題**

**（資料に基づき、大阪府茨木保健所から説明）**

（資料２－１）　三島二次医療圏「地域医療構想」現状と今後の方向性

　　（資料２－２）　病院ごとの医療機能一覧（病院プラン等結果）

　　（資料２－３）　病棟ごとの医療機能一覧（病床機能報告暫定結果）

　　（資料２－４）　三島二次医療圏における患者受療状況（ＮＤＢデータ）

　　（資料２－５）　二次医療圏毎の医療提供状況（ＮＤＢデータ）

　　（資料２－６）　ＤＰＣ参加病院と三島二次医療圏におけるＭＤＣ別診療実績の推移

■**議題４　意見交換（議題２と議題３について）**

**（主な質問・意見等）**

〇資料２－１のスライド２６のまとめに「三島住民へ医療を提供している機関のうち圏域外の

医療機関が担っている実情を留意しながら」とあるが、この実情についてもう少し詳しく説

明していただきたい。

〇厚生労働省から大阪府の地域医療構想は進んでいないと聞いている。２０２５年になったと

き患者にとって医療が崩壊していることが無いように大阪府には積極的に地域医療構想を

推進していただきたい。

〇厚生労働省に誤解があると思われるので、委員に誤解を与えないように大阪府から説明して

もらいたい。

**（主な大阪府の回答）**

〇三島医療圏は隣接する豊能医療圏や北河内医療圏の医療機関と連携している現状がある。今後、病院連絡会などで三島医療圏の病院が圏外のどのような医療機関と連携しているのか、圏外からの患者の受け入れをしているかなどが、数字となって表れてくると思われるのでその状況を考慮する必要があると考えている。

〇大阪府では、民間の医療機関の割合が全国に比べ約１０パーセント多いこともあり、国が求める公的医療機関だけでなく、民間の医療機関の実情も把握したうえで、地域医療構想推進調整会議で議論する必要があると考え、大阪府独自に民間の医療機関にも同じ内容の調査を行った。そのため、厚労省が想定するスケジュール通りではないため、府の取組みは遅れていると言っているが、今年度は、調査内容を分析しデータやグラフなど見える形で示すことで、府の実情に応じた議論をしていただくことが可能になった。ちなみに、次の取り組み状況のとりまとめ段階では、トップランナーの仲間入りを果たす見込み。

**■議題５　地域医療介護総合確保基金について**

**（資料に基づき、大阪府茨木保健所から説明）**

（資料３－１）　地域医療介護総合確保基金（医療分）について

　　（資料３－２）　地域医療介護総合確保基金事業一覧

（資料３－３）　平成３０年度「大阪府病床転換促進事業補助金」のご案内

**質問・意見等：なし**

**■議題６　その他**

　**なし**